

2020年度 一般財団法人全日本大学バレーボール連盟 第2回理事会 議事録

1. 日時：2020年9月26日（日）15：00～
2. 会場：Zoom リモート会議
3. 出席者：議決権を持つ役員43名 出席者35名 委任8名 （過半数を超えたため理事会成立）
4. 議長：高野 和弘
5. 議題：① 全日本ビーチについて
② 全日本インカレについて
③ その他
6. 議事内容
 - ① 全日本ビーチについて
 - ・荒井商事杯ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ2020第32回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会について説明があった。
 - ・荒井商事杯ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ2020第32回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会決算（案）について説明があり、承認された。
 - ・大会から2週間経過後もコロナ感染者は出ておらず、無事成功したとの報告があった。
 - ② 全日本インカレについて
 - ・ミキプルーンスーパーカレッジバレー2020東京大会について説明があった。
 - ・ミキプルーンスーパーカレッジバレー2020東京大会の出場枠（案）について説明があった。
 - ・全日本インカレ出場校算出において、2019年度所属校数は、2019年の5月に全日本学連に登録料を支払ったチームとすると説明があった。
 - ・登録数にて出場チームを決めるA案、昨年のベスト8チームを勘案したうえでの登録数にて決めるB案、そしてB案に近い出場チーム数となる男女4チームを関東学連から出場させるC案で、A案とC案で決議を取ったところ、決議時に参加した理事34名のうちA案16票、C案18票で、C案が採用された。【C案】32チームを地区学連登録数の割合で算出し、開催地枠として関東学連に4チームを追加した計36チームとした。
 - ・ミキプルーンスーパーカレッジバレー2020東京大会の開催要項（案）についての説明があった。
 - ・各地区学連で、推薦チームがコロナウイルスの影響により参加できなくなった場合、エントリー変更申込期限の11月16日までは、参加できなくなった大学が所属する学連から代替りのチームを補填する、もしくは開催地である関東学連のチームから補填すると説明があった。それ以降は、開催地である関東学連のチームから補填すると説明があった。
 - ・平日の試合は無観客で行うと説明があった。
 - ・レフリークリニック及び代表者会議、緊急時対応マニュアルについてはZoomを用いたオンライン上での開催とし、詳細は後日ホームページに掲載すると説明があった。
 - ・全試合5ボール制で行うとあるが、会場によって人数制限がかかってくる可能性があるため、ボール数を変更して行う可能性があるとの説明があった。
 - ・会場によっては各チーム入場者数を最低25名まで下げられると説明があった。
 - ・コロナ対策用の運営ガイドラインについては、後日ホームページに掲載すると説明があった。
 - ・ミキプルーンスーパーカレッジバレー2020全会場共通 総務からの確認・注意事項の説明があった。
 - ・全日本インカレのベンチ入りスタッフの資格について説明があった。
 - ・ミキプルーンスーパーカレッジ2020シード一覧表について説明があった。
 - ・ミキプルーンスーパーカレッジ2020大会までの諸日程（案）について説明があった。
 - ・ミキプルーンスーパーカレッジ2020組織委員会・実行委員会 名簿について、説明があった。
 - ・ミキプルーンスーパーカレッジ2020収支計算書予算書（案）について説明があった。

- ・ミキプルーンスーパーカレッジ2020広報・動員活動計画について説明があった。
- ・1～3回戦はUNIVAS（大学スポーツ協会）によるライブ配信があると説明があった。

③ その他について

- ・天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会学連推薦枠について説明があり、男子クラブチームがコロナウイルスの影響で参加辞退したため、男子の推薦枠が3枠、女子が2枠と説明があった。
- ・昨年の全日本インカレの結果により、男子が、早稲田大学・筑波大学・中央大学、女子が、筑波大学・福岡大学にて推薦することが承認された。
- ・大学バレーボール部の地域活動調査について説明があった。
- ・全日本学連の公式マスコットキャラクターについて説明があった。
- ・来年の3月の全日本理事会が役員改選時期となると説明があった。
- ・コロナウイルス対策費として各学連登録チーム×1万円を返還させていただいたことについて、改めて理事会にて承認された。

以 上
一般財団法人全日本大学バレーボール連盟